



減災のまちづくり

諸伏 清児 議員

■検証と対策

問 昨年の台風第19号の検証を踏まえて本市が重要とする取り組みは何か。

防災・危機管理監 指定緊急避難場所の運営方法や避難所の備蓄品の充実、市災害対策本部各班の対応力強化である。

問 指定緊急避難場所運営マニュアルの風水害編を新たに作成したが、どのように有効に運用するのか。

防災・危機管理監 マニュアルは、風水害に特化したマニュアルとして作成した。避難所の開設からのタイムラインや垂直避難時の経路図などを盛り込み、ひな形として作成している。各避難所運営委員会で内容や役割を検討してもらうとともに地域で訓練を行うことで、実効性のあるものとなるように取り組む。

問 新型コロナウイルスの終息が見えない。先行災害に別の災害が発生する複合

災害についても考えなければならぬが、本市はどのような考えているのか。

防災・危機管理監 出水期は、風水害への対応と新型コロナウイルスへの対応が必要となる。風水害に特化したマニュアルに加え、感染症対策マニュアルも作成した。避難所の運営を適切に行っていくと考える。

問 3密を避けるためには避難所の分散化も必要である。風水害の避難所について、地域の実情に合わせて時的に避難所の分散を進めべきと思うが、見解を伺う。

防災・危機管理監 現段階では既存の避難所を有効に活用していきたいと考えている。それでも難しい場合は、地区公民館などを検討していきたい。

問 被災者の支援については、担当課が多岐にわたる。市民には複雑である。支援漏れのないよう取り組み

1面写真を募集

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。

市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、季節を感じられる写真など平塚市の魅力を収めた一枚をご応募ください。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。議会局までお問い合わせください。



まなければならぬが、考えを伺う。

防災・危機管理監 今年度から被災者台帳システムを導入し一元管理すること

で、未申請などについて知らせることができるようになった。市民をフォローできると考えている。

■四ノ宮地区浸水被害

問 浸水した地区では、現

在、目に見える対策がされていない。土のうステーションはいつ、どこに設置されるのか。

土木部長 地域住民が取り

に行きやすい場所を選定することが必要と考える。公共用地だけでは限りがあるので、できれば地域と協力し、地域の人の土地も含めて検討していきたい。現段階で公共用地としては、四

之宮ふれあいセンターなどを考えている。

問 浸水被害の発生メカニ

ズムの解析報告が滞っている。いつ報告されるのか。土木部長 現段階で、委託業者には7月末までに報告書の提出を依頼している。8月の台風シーズン前までに地元で説明したいと考えている。

問 昨年の住民説明会では

真剣な意見交換がされた。3密を避けて実施しなければいけないと思うが、十分に地元と協議をする必要がある。見解を伺う。

土木部長 四ノ宮地区には

環境対策事務連絡会がある。その代表者と協議しながら、できるだけ多くの人へ説明する機会を持てるよう分散開催などについても協議していきたい。



新しい地域の連携と協働について

坂間 正昭 議員

■地域コミュニティの創出に向けて

問 新型コロナウイルス感

染防止策により中断した地域自治、地域コミュニティの早期回復や、新しい生活様式に踏み込んだ本市独自の仕組みづくりが必要と考えるが見解を伺う。

市民部長 今後の地域活動

は新しい在り方にしていく必要がある。自治会、地区公民館、町内福祉村などが連携して課題解決に取り組む独自の仕組みづくりを地域とともに検討していく。

問 公民館の既存設備を利用

したテレビ会議も一つのコミュニティの方法と思うが利用する考えはあるか。市民部長 各種団体の会議での活用が考えられる。公民館の体制整備や運用方法について研究を進めたい。

■学社連携について

問 分散登校期間中の見

童・生徒の一時預かり事業として、地区公民館で学習準備をすることもできたと

思うが見解を伺う。

社会教育部長 地区公民館の利用も検討したが、交通の利便性が高い教育会館を会場とした。一時預かりの時間を長くするなど、受け入れ体制を整え実施した。

問 学校、保護者、地域に

よる活力あるコミュニティの継続と早期の回復にはコミュニティ・スクールの導入が必要ではないか。社会教育部長 学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組みることが可能となる学校づくりへ有効な仕組みである。昨年度、職員研修を行い、今年度は校長や教頭、教員、関係課で構成する教育課程課題検討連絡協議会で研究していく。

問 学校運営協議会と地域

学校協働活動の役割が十分に機能するために、どう一体的に推進していくのか。

清風クラブ 所属議員



片倉 章博 議員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



須藤 量久 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案3案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願1件は継続審査とすべきものと決定しました。

○議案第47号 平塚市一般職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問 条例の改正で設けられる日額4千円の手当に該当する勤務とはどのようなものか。

答 新型コロナウイルス感染症の所見がある者又はその疑いがある者の身体に接触する、もしくは長

時間にわたり接して行う作業が該当する。

○議案第50号 工事請負契約の締結について〔相模小学校新築工事(プール棟・建築)〕

問 工事の入札が2度不調となっている。仕様を見直してコストを下げるべきではなかったのか。

答 相模小学校は本体工事と一体で設計委託を行っており、工事を発注している。その設計を見直すとなると、相応の期間を要し、開校にも影響する。そのため随意契約という形で早急な契約をした。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 総務費の防犯設備整備事業で60万円を増額補正し、迷惑電話防止機能がある機器の購入費を補助する。どの程度補助するのか。

答 県と市を合わせて購入費の3分の2、上限6千円を補助する。

問 この制度を高齢者へどのように周知するのか。

答 広報などに加え、高齢者よろず相談センターなどの施設に案内をして、高齢者を支援している人からも制度を伝えてもらう。

都市建設

議案1案件は原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第51号 令和2年度平塚市一般会計補正予算

問 土木費の橋りょう震災対策事業で北野橋の耐震化工事を行う。なぜ当初予算ではなく、今回の補正予算で計上しているのか。

答 国の防災・安全交付金を増額して利用することが可能となり補正予算を計上した。事業を調整して北野橋を工事することとした。